

令和4年度 利府町標準学力調査の結果分析と改善案（5学年）

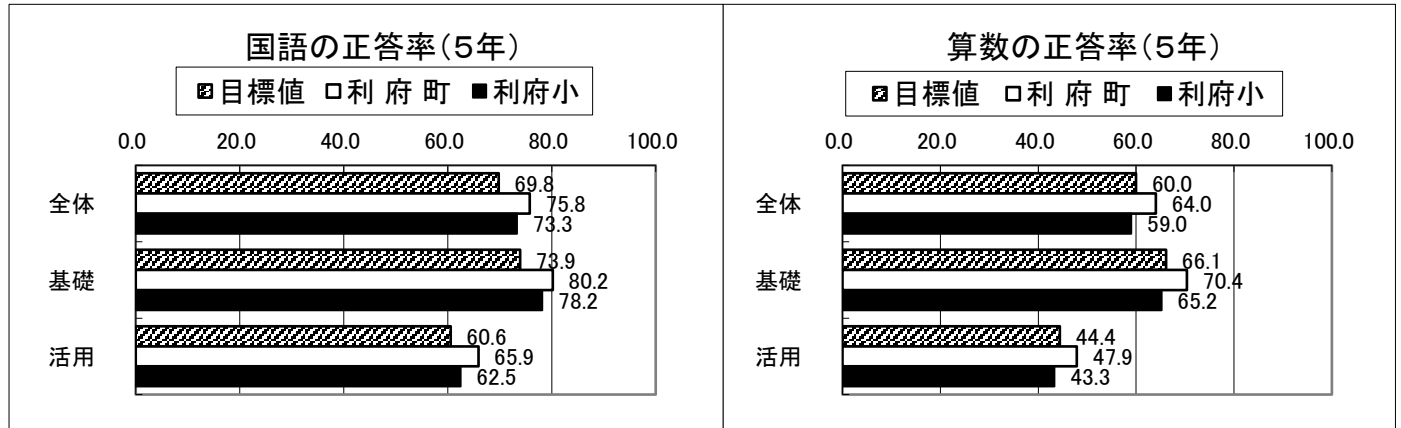
春寒の候、保護者の皆様方にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただいていることに、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年12月に行われた利府町標準学力調査の結果についてお知らせいたします。また、児童には一人一人に検査の結果と学習のポイントが書かれた個人カードを配付いたしました。

つきましては、ご家庭でも学習への取組方等についてお子さんと話し合い、励ましの言葉を掛けていただければと思います。

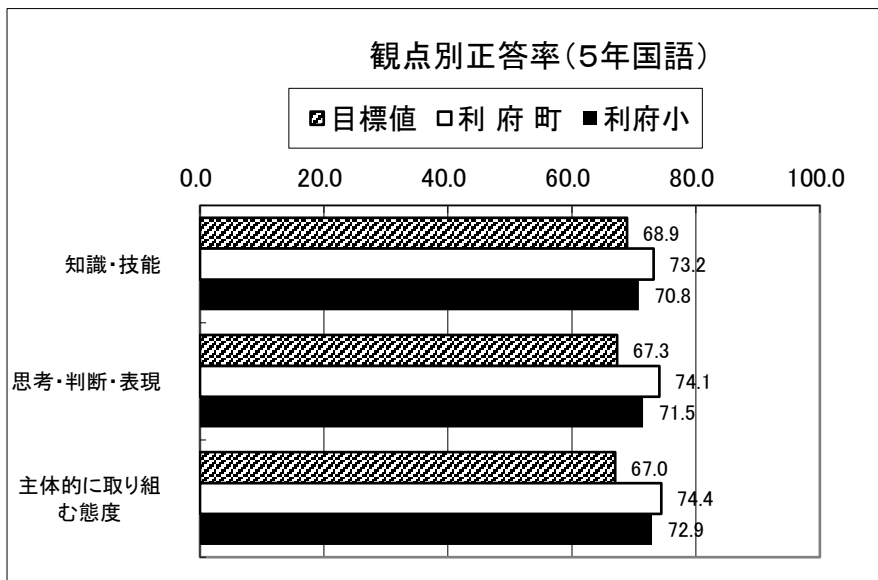
5学年全体の結果から

目標値とは、データに基づいてこの数値まで到達してほしいラインを表したものです。実際の正答率とは異なりますが、およそ全国平均の数値と近いもので、結果を比較する目安となる数値です。

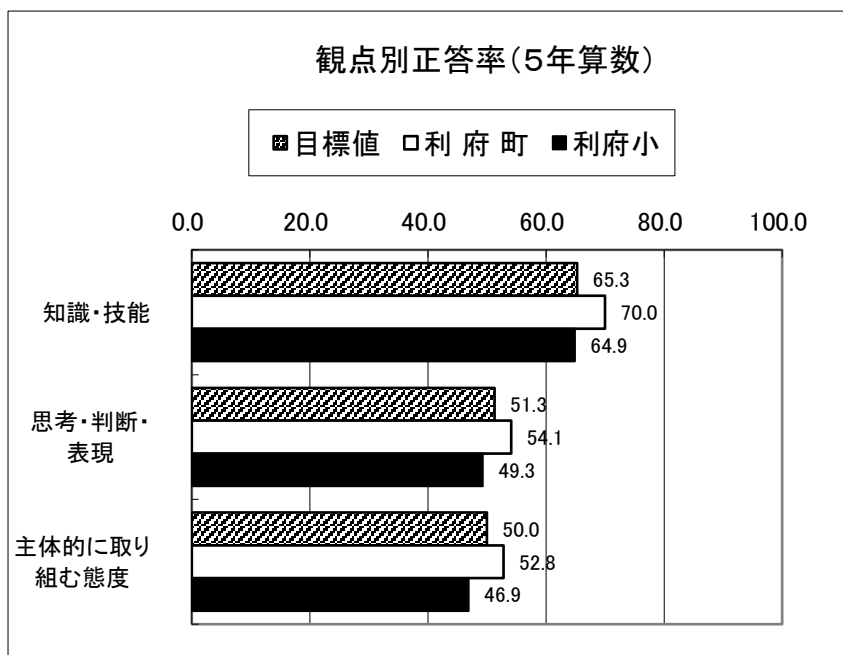


- ・ 国語については、全体で3.5ポイント目標値を上回っています。基礎では4.3ポイント、活用では1.9ポイント目標値を上回っており、確実に学習内容を身に付けています。
- ・ 算数については、全体で1ポイント目標値を下回っています。基礎では0.9ポイント、活用では1.1ポイント目標値を下回っていますが、ほぼ目標値に近似値なので学習内容が身に付いていることが分かりました。

【国語】◎よくできていた点 ●課題とその改善案



- ◎ 「物語や説明文の内容を読み取る」問題がよくできていました。
- ◎ 第5学年の配当漢字を読んだり書いたりする問題の正答率が高くなっていました。
- ◎ 「文章を書く」問題では、自分の意見とその理由を明確にして書くことができていました。
- 連用修飾語、漢字を適切に活用するなど「言葉の学習」の問題に課題が見られたので、同音異義語や同訓異義語の学習をタブレットドリル等で既習事項の確認を行っていきます。
- 「文章を書く」問題の中で、指定された長さで文章を書くことや段落の役割について理解することに課題が見られたので、授業の中や週末作文の課題で、条件を指定した作文指導に重点を置いていきます。



- ◎ 基礎基本がしっかりと身に付いており、問題の意味をよく理解して解くことができていました。
- ◎ 分数の問題では、通分(分母をそろえる)の意味を理解し、計算後の約分も忘れずに行っていました。
- ◎ 小数のかけ算・わり算の問題では、基本的な計算の仕方はよくできており、正答率が高くなっていました。
- 小数のかけ算・わり算の問題では、文章問題を図に表したりその文章問題に合った式を選択したりする問題の正答率が低かったので、授業で文章問題を数直線や簡単な図でノートに書く指導を継続して行きます。
- 単分量あたりの大きさの問題では、文章から「もとにする量」と「比べられる量」を逆でとらえてしまいそのまま計算してしまうので、文意をまずは理解し立式できるよう、宿題等で文章問題を定期的に出し補充の学習を行っていきます。

個人票『あなたの結果』の見方

① 教科正答率 (%)

全て正解の場合は100%になります。「あなた」の欄のお子さんの数値と目標(到達してほしい数値)を比較しておおよその目安としてください。

右側の児童のみなさんへの文章をお子さんと一緒に読んでみてください。

② 内容別の正答率

国語と算数それぞれの問題の内容別にお子さんの正答率を表しています。評価は目標値との比較により、3段階で表されています。特に▲は、内容が十分に身に付いていないことを表します。

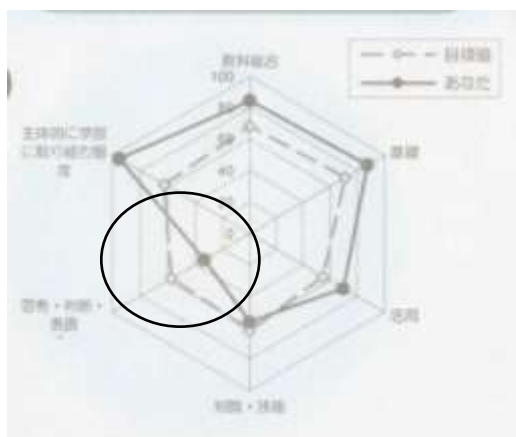
表の下にはお子さんへのアドバイスが記述されています。自主学習に取り組む際の参考にしてください。

(例) 小学校5年 算数

問題の内容	正答率 (%)		評価
	あなた	目標値	
分数と小数	80.0	82.5	○
合同	87.5	77.9	◎
体積	65.4	81.4	▲
▲の評価である「体積」の学習が十分に身に付いていないことが分かります。			
総合	78.5	79.5	○

※詳しくは、個人票の裏面をご覧ください。

③ 領域別のグラフ



『目標値』より内側の値(○の中の部分)は目標に届かなかったことを表します。